



利用者さんと一緒に、「きれいな～、いつクリスマス？」など話をしながら楽しく飾り付けをしました。
写真撮影の時は嬉しそうにポーズをとられ、電気をつけると、わ～っと歓声を上げられていました。

栄養課



12月23日、24日はクリスマスメニューを提供しました。赤、白、緑のクリスマスカラーを取り入れ、ポテトサラダをクリスマスツリーの様にしました。カードも手作りでき愛く仕上げています。みなさんクリスマスを感じていただけましたか？



ヘルパーステーション里見 ゃ

利用者のニーズに合わせて身体介護、生活介護の中から調整してサービスを決めさせていただきます。詳しくはご相談ください。



発行元 医療法人英然会

広報委員会 中津市中央町1-8-36

<http://www.eizenkai.jp/>



心のサプリメント『ナニヌネノ』

《ニ》ニは仁。仁愛、仁徳、仁義。仁は「イ」（ひと）と「ニ」（ふたつならぶ）とを合わせた字。人々が寄り添って親しみ合うこと。そこから、相手を「おもしろい」という意味に使うとある。いつくしみの心。仁は愛、寛容、憐憫の情であり、至高の徳として認識され、孔孟の二人とも天下を治める者に不可欠な必要条件を「仁とは人（じん）なり」と定義しています。人徳は仁徳とも言い換えられ、仁は智、勇とともに武士道の精神を支える鼎（かなえ）の三つの脚とされました。加えて武士道では「義、礼、誠、忠」が重んじられ、厳しい自己規律と自制を課して美しく生きる道が求められました。武士道の精神は平和な江戸期を通して広く庶民にも浸透し国民の倫理観として定着していきます。仁心は人心に伝わるよう礼をもって誠を尽くします。礼は孔子が「克己復礼」として仁とともに道徳の要としたものです。挨拶など慣例的な礼儀作法を人と人との間で実践することで貴い和が保たれます。義は正義の観念であり人に正路を示し勇気の発動となります。死生観が変容する現在、いまや忠義は死語となり武士道精神は残滓を残すのみとなっているようです。しかしながら今を生きる社会人としての行動規範にも仁の心は肝心かなめの要諦でしょう。《仁は心のサプリメントです》。お互いに仁の心で接し合い、信頼の輪を社会の隅々にまで広げていきましょう。